

TDC DAY 2009

2009.4.5 sun 12:30pm - 6:30pm

東京 TDC 賞の受賞者やゲストを迎え、受賞作品やその背景などをとりあげるデザインフォーラム「TDC DAY」は、今年 9 回目を数えます。本年度は 2 つのレクチャーと 2 つの対話、松本弦人がモデレーターとなつての 3 つの座談、という構成。6 時間、めくるめく豊かなデザイン・コンテンツをお楽しみください。

1) エマヌエラ・コニディ

Emanuela Conidi

(イタリア出身 / ロンドン在住)

コニディ女史の受賞作はタイプデザイン「Nabil」。レギュラー、イタリック、アラビックの 3 種の書体を新聞用にデザインしたが、アラビア語、ペルシア語、ウルドゥー語のほか、ローマ字を用いる言語の大半で使用することができる。ローマ字とアラビア文字という文字形式それぞれの本来的なデザインを開発しつつ、それらを調和のとれた一つのグループとして一体化したなど、制作意図や背景を語る。

2) レス・ソン

Les Suen

(中国・上海)

受賞作「モレキュール」は読書に発展性を与える複数の階層と断片で構成され、これまでの読書という行動の概念を打ち破る。多面的であり、文章の非直線的なパーツを作り出し、従来の文章の流れを打破している。—そう語るソンは 3 年前に同じくブック作品で受賞、本に向けた壮大な思考と実験の成果を披露し拍手喝采を浴びた。現在は上海のマッキンエリックソンで M.Lab を率いる。待望の再来日!

3) 立花文穂 + 伊勢克也 + 松本弦人

口々を、伝達していくことばの発生のみえに、人々は、「文字」を感じていたにちがいない。「文字」が「文字」になるまえのはじまりのかたち。それが「球体」。—立花文穂が編集とアートディレクションを手掛ける雑誌「球体」の 1 号〜3 号が受賞対象。編集に参加する伊勢克也を迎え、松本弦人と三人の鼎談となる。「球体」をめぐるどのような話題をころがし、ころげるか、お楽しみに。

4) 植原亮輔 + 金森 香 + 松本弦人

受賞作品はシアタープロダクツのグラフィックデザイン。「僕は、彼らの服づくりに対してのこだわり、この時代に語りかけたい熱い想いに共感し、絶えず流れている川の中を泥まみれになりながら、彼らと共に手を取り合って渡っているのだと感じています。(植原)」シアタープロダクツをプロデュースする金森香を迎えてのトーク。制作の現場や共有するビジョン、小さな宇宙と大きな宇宙がつまびらかになる。

5) 中村勇吾 + 中村至男

昨年 8 月に ggg で開催された中村勇吾 + tha の展覧会が本年度のグランプリを受賞。中村至男は TDC 20 周年記念企画「BCCKS 展」の出品作品「Twin Universe」から展開したポスターで TDC 賞を受賞。両者は TDC インタラクティブデザイン部門審査会で過去に 3 度ほど顔を合わせている。中村はもう一人の中村の実はファンであったのだと第三者に伝えた。告白から初の顔合わせトーク。

6) 中村勇吾 + 中村至男 + 松本弦人

「BCCKS 展」の仕掛人、松本弦人が中村至男と受賞作品の背景を話題に、また「語りたことは山のようにある」と今回の参加を瞬時に引き受けた中村勇吾の一連の作品について聞き、語り合う。ダブル中村の受賞作をめぐる珠玉の 40 分。

7) 浅葉克己 + 仲條正義

M/M(Paris) が審査会場で唸った、仲條正義の印刷会社「小森」の 2008 年カレンダー。「海外審査員が私の中途半端なジャポニズム作品を軽蔑もせず推薦いただき、」という特別賞受賞の弁となった。浅葉克己の TDC 賞受賞作品は昨年夏に開催した「折りの痕跡展」から膨大な量の自身の日記。変わらず第一線で創作する両氏に、受賞作品と最新のデザイン感を聞く。



- 日時：4月5日(日) 12:30pm~6:30pm (開場 11:50am)
- 会場：女子美術大学杉並キャンパス 4号館「4401 教室」
東京都杉並区和田 1-49-8 / 営団地下鉄丸の内線「東高円寺駅」下車徒歩 8 分
- 主催：NPO 法人 東京タイプディレクターズクラブ
共催：ギンザ・グラフィック・ギャラリー / 協力：女子美術大学
- 参加料：一般 2,000 円 学生 1,500 円 / 先着 250 名・事前申込み制(全席自由席)
- 最新情報は、www.tdctokyo.org をご覧ください。
- お申込方法：「TDCDAY 参加希望」というサブジェクト名で、info@tdctokyo.org まで e-mail で。
お名前・ご住所・電話番号・一般か学生(学校名+学年)を明記ください。
お一人のお名前のメールで一席のお申込が可能です。
- 当日の出演順は変更になる場合もありますので、ご了承ください。